



学校要覧

農を拓く人材に
夢・希望を実現する学校！



専修学校

滋賀県立農業大学校

SHIGA PREFECTURE AGRICULTURAL COLLEGE

沿革

- 昭和44年 4月 滋賀県立高等営農学園を開校する（定員：本科80名、別科若干名）
昭和45年 4月 短期研修科を設置する（定員：若干名）
昭和50年 4月 滋賀県立営農大学校と改称する（定員：本科40名、別科10名、短期研修科若干名）
昭和52年10月 農林水産省の農業者研修教育施設（農業改良助長法による）指定校となる
昭和54年 4月 別科を廃止、本科定員50名とする
平成元年 4月 滋賀県立農業大学校と改称する（定員：本科30名）
平成11年 4月 研修科を設置する（定員：若干名、6ヶ月）
平成19年 4月 農林水産省の農業者研修教育施設に加え、
学校教育法に基づく文部科学省の専修学校となる
本科を養成科と改称、研修科を就農科に改組する（定員：若干名、1年）
寮制度を廃止する
平成26年 4月 就農科定員10名とする
令和3年 4月 就農科定員15名とする

教育方針

本県の次代の農業経営を担う優れた人材を育成するとともに、地域社会における農業の振興等に指導的役割を果たす、個性豊かな人材を養成する。

- 1 近代的な農業を行うために必要とされる高度な専門知識技術および経営能力を養成する。
- 2 実践学習を通じて、農業者としてふさわしい幅広い視野を持った経営能力および組織活動能力を養成する。



校歌

作詞 太田活太郎
作曲 北村昭

一、水うるわしき びわのうみ
ここ営農の まなびやに
つどいし我等 若き者
今この道に このわざに
むすびもかたく あらたなる
希望は空に にじをふく

二、かぜさみどりの 大なかの
ここ営農の まなびやに
ちかいし我等 若き者
今この土に このくわに
湖国の文化 開きつつ
打ちこむ力 汗を呼ぶ

三、雪さやかなる 比良の峰
ここ営農の まなびやに
きたえし我等 若き者
今この腕に この胸に

養成科

優れた青年農業者を育成するため、高等学校を卒業した者、
または同等以上の学力を有すると校長が認めた者を対象に実践教育を行います。

■教育課程

専攻コース・教育場所

専門課程	専攻	教育場所	修業年限	入学定員
農産	水田農業	農業大学校	2年	1学年 30名
	茶	農業大学校、茶業指導所		
園芸	施設園芸（野菜・花き）	農業大学校		
	果樹			
畜産	畜産	農業大学校、畜産技術振興センター		

※専攻コースの教育場所は1学年9月以降で、それまでは全員本校となります。

※茶業指導所は甲賀市水口町水口、畜産技術振興センターは蒲生郡日野町山本にあります。

■教育体系

学習概要・年間行事

月	第1学年	第2学年	主な行事
4	春期休業 教養・共通学習	春期休業	春期休業 入学・入校式、始業式、新入生オリエンテーション プロジェクト計画検討会
5	農業体験学習	専攻学習 ・共通学習	校内体育大会 トラクタ研修①、三者面談
6	教養・共通学習		東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会 トラクタけん引研修①
7			前期試験、終業式
8	夏期休業	夏期休業	夏期休業
9	専攻学習 ・共通学習	農業体験学習	始業式 1年研修旅行 トラクタ研修②
10			専攻学習 ・共通学習
11		収穫祭 プロジェクト研究発表会	
12		終業式	
1	冬期休業	冬期休業	冬期休業
2	専攻学習 ・共通学習	専攻学習 ・共通学習	始業式 東海近畿農業大学校意見研究発表会 後期前半試験
3			家庭学習
3	春期休業		春期休業

※1年後期以降にも一部教養学習はあります

※休業は春期3月21日～4月10日、夏期7月21日～8月31日、冬期12月23日～1月7日

■学習時間

校時	時間	備考
第1・2時限	9:00～10:30	講義、実習、ゼミナール等
第3・4時限	10:40～12:10	
第5・6時限	13:10～14:40	
第7・8時限	14:50～16:20	
プロジェクト	16:20～17:00	実習記録等

教育科目 ■ 専攻別学習内容・実習

教養科目	1年生	法律 経済 英語 体育 倫理Ⅰ 情報処理Ⅰ 農業基礎 学習方法論Ⅰ
	2年生	倫理Ⅱ 学習方法論Ⅱ 地理
専門科目 (共通科目)	1年生	農業政策 農業経営 農業簿記 農産物流通 農業技術概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 農業機械(学科・実技) 土壌肥料 農業概論 特殊技術学習 労働衛生 環境と農業 気象と農業災害 スマート農業 農産物生産管理(GAP) 複合経営・多角経営 農業機械実習 基礎実習 農業体験学習Ⅰ
	2年生	農産物マーケティング 6次産業化農業 情報処理Ⅱ 農業体験学習Ⅱ

専攻コース別科目

農産課程

水田農業コース

水稲や麦大豆・露地野菜などの栽培技術、農業機械の操作を習得します。



1年次

水稲栽培Ⅰ 大豆栽培
土地利用型園芸Ⅰ
農業機械Ⅰ(水田作業機)
植物病理 応用昆虫 作物病害虫
稲作経営 野菜流通Ⅰ
専攻演習(ゼミナール)
実習およびプロジェクト学習

2年次

水稲栽培Ⅱ 麦類の栽培
水田雑草対策 土地利用型園芸Ⅱ
大規模経営と集落組織 野菜流通Ⅱ
専攻演習(ゼミナール)
実習およびプロジェクト学習
卒業論文

茶専攻コース

1200年の歴史と伝統ある「近江の茶」の栽培と近代的な製茶技術を習得します。



1年次

茶の栽培基礎Ⅰ 茶の栽培応用Ⅰ
茶園の施肥法Ⅰ 茶の製造・再製Ⅰ
植物病理 応用昆虫 茶の病害虫
茶業経営Ⅰ
専攻演習(ゼミナール)
実習およびプロジェクト学習

2年次

茶の栽培基礎Ⅱ 茶の栽培応用Ⅱ
茶園の施肥法Ⅱ 茶の製造・再製Ⅱ
茶の化学 茶業経営Ⅱ
専攻演習(ゼミナール)
実習およびプロジェクト学習
卒業論文

施設園芸(野菜)コース

少量土壌培地耕によるトマト・キュウリ・イチゴなどを中心に栽培技術を習得します。



1年次

施設園芸総論 キュウリ栽培
トマト栽培 イチゴ栽培
野菜経営 野菜流通Ⅰ
土地利用型園芸Ⅰ
園芸用施設 植物病理 応用昆虫
専攻演習(ゼミナール)
実習およびプロジェクト学習

2年次

軟弱野菜栽培 ナス栽培 メロン栽培
土地利用型園芸Ⅱ 野菜流通Ⅱ
少量土壌培地耕システム
専攻演習(ゼミナール)
実習およびプロジェクト学習
卒業論文

農業体験学習Ⅰ・Ⅱ

1年次に4日間、2年次に2か月間、先進農家において地域農業の実態に接し、農業技術やその経営感覚を学びます。



学校行事

入学・入校式 始業式 終業式 卒業・修了証書授与式 東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会
校内体育大会 研修旅行 収穫祭 プロジェクト発表会

特別学習

指導農業士・本校卒業生の講話 進路ゼミ 特別講義

自治会活動

学生自治会主催の活動（新入生歓迎会・収穫祭等） クラブ活動（有志）

園芸課程

施設園芸(花き)コース

バラ・キク・カーネーションなどを中心に栽培技術を習得します。



1年次

施設園芸総論 バラ栽培
カーネーション栽培 キク栽培
花き流通 フラワーデザインⅠ
土地利用型園芸Ⅰ
園芸用施設 植物病理 応用昆虫
専攻演習（ゼミナール）
実習およびプロジェクト学習

2年次

鉢花・花苗栽培 草花栽培
洋ラン・観葉植物栽培 花き経営
フラワーデザインⅡ
少量土壌培地耕システム
専攻演習（ゼミナール）
実習およびプロジェクト学習
卒業論文

果樹専攻コース

ブドウ・ナシ・モモ・カキ・イチジクなどの果樹栽培技術を習得します。



1年次

果樹総論 ナシ栽培 ブドウ栽培
モモ栽培 カキ栽培
植物病理 応用昆虫 果樹経営Ⅰ
専攻演習（ゼミナール）
実習およびプロジェクト学習

2年次

イチジク栽培 ブルーベリー栽培
各種果樹栽培 果実の化学
果樹病虫害 果樹経営Ⅱ
専攻演習（ゼミナール）
実習およびプロジェクト学習
卒業論文

畜産課程

畜産専攻コース

「近江牛」で知られる肉用牛をはじめ、乳用牛や鶏などの飼養管理技術を習得します。



1年次

畜産総論 飼養管理Ⅰ 家畜栄養
家畜繁殖 家畜衛生 家畜解剖
飼料作物Ⅰ 畜産経営
専攻演習（ゼミナール）
実習およびプロジェクト学習

2年次

飼養管理Ⅱ 家畜育種 生物工学
飼料作物Ⅱ 畜産物流通
専攻演習（ゼミナール）
実習およびプロジェクト学習
卒業論文

プロジェクト学習とその成果発表

2年次には、課題解決学習の一環として、各学生が課題を1つ設定し、その解決方法のための計画の樹立、栽培・飼養の管理、調査の実施、結果の取りまとめといった一連の流れを実践する、プロジェクト活動に取り組んでいます。その結果をまとめ、1人ずつ発表に臨みます。優秀者は、当校を代表し東海近畿プロジェクト発表会に参加し、全国プロジェクト発表会を目指します。



プロジェクト研究発表会



農業機械実習

Shiga Prefecture Agricultural College

CAMPUS LIFE

■学校生活

2年間の学生生活では、各専攻学習や各種資格取得のほか、1・2年生が協力して学生自治会活動等に自主的・精力的に取り組んでいます。

●学校行事、学生自治会活動等

○春期休業（～4/10）

- 入学・入校式、始業式
- 新入生オリエンテーション
- プロジェクト計画検討会

- 東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会
- トラクタけん引研修①

○夏期休業（～8/31）



入学・入校式



校内体育大会



プロジェクト計画検討会



トラクタ研修



トラクタけん引研修



研修旅行 (1年)



農大農産物直売所
「フレッシュ503」

経営感覚を身につけるため、実習で収穫された作物、花、野菜、果物を販売します。月2回、第1・第3水曜日に開催。

- 1年研修旅行
- トラクタ研修②

- プロジェクト研究発表会
- 終業式
- 冬期休業 (12/23~)

- 全国農業大学校学生交換大会・発表会

10
Oct

11
Nov

12
Dec

1
Jan

2
Feb

3
Mar

- 農業体験学習報告会
- 収穫祭
- トラクタけん引研修②

- 冬期休業 (~1/7)
- 始業式
- 東海近畿農業大学校意見研究発表会
- 後期前半試験

- 卒業・修了証書授与式
- 後期後半試験
- 終業式
- 春期休業 (3/21~)



農業体験学習報告会



卒業・修了証書授与式



収穫祭



東海近畿農業大学校研究・意見発表会



■多様な技術の習得

●農業機械等の習得

大型特殊自動車であるトラクタの運転技術およびけん引運転技術の習得とその免許取得に向けた研修です。



トラクタ基本運転練習



トラクタけん引運転練習

■特典と資格免許の取得

●特典

- 本課程を修了した者（以下 卒業生）には「専門士」の称号が与えられます。
- 卒業生は、人事院規則・滋賀県人事委員会規則上、短期大学卒業と同等に扱われます。
- 卒業生または卒業見込みの者は4年制農業系大学への編入学試験の受験ができます。（ただし、編入学制度を有する大学のみ）
- 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金を受けることができます。
- 就農予定者は、在学中に国の新規就農者育成総合対策（就農準備資金）の支援を受けることができます。（ただし、年齢・所得等の要件あり）
- 公益社団法人国際農業者交流協会が行う海外農業研修に応募できます。

●資格取得

希望者は、就農や就職に必要とされる各種資格の取得が可能です。

本校で実習等

- ・大型特殊免許（農耕用）
- ・けん引免許（農耕用）
- ・危険物取扱者（乙種第4類）
- ・アーク溶接特別教育

- ・毒物劇物取扱者（農業用品目）
- ・床上操作式クレーン運転技能講習
- ・ボイラー取扱技能講習
- ・小型移動式クレーン運転技能講習
- ・フォークリフト運転技能講習
- ・玉掛け技能講習
- ・ガス溶接技能講習
- ・小型車両系建設機械運転特別教育
- ・家畜人工授精講習（畜産専攻生）
- ・車両系建設機械技能講習



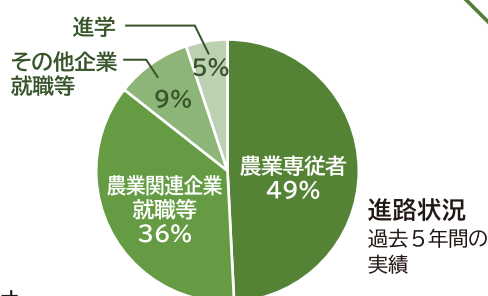
アーク溶接実習



小型移動式クレーン運転（5ト未満）

■進路状況（過去5年間の実績）

- ◎農業専従者（自営および雇用就農） 49%程度
- ◎農業関連企業就職 36%程度
- ◎その他企業就職等 9%程度
- ◎進学 5%程度



進路状況
過去5年間の
実績

令和4年度末までの卒業生総数は 1,284名です。

過去5年間（平成30年度末から令和4年度末まで）の進路状況は、卒業生118名に対して、就農者は、58名、農協や関連企業への就職者数は43名となっています。

就農者は滋賀県農業の担い手として、自営だけでなく農業法人でも活躍しています。また、農協や農業関連企業に就職した者も地域農業の指導的な役割を果たし活躍しています。さらに卒業後、海外研修（アメリカ・ヨーロッパ 1～2年間）に参加する者もいます。

先輩から Message

施設園芸（野菜）コース

2年 植出奈緒美さん

農大の魅力は、実習メインで学べることや先生の指導が手厚いことなどがあります。私は農高生の頃から実習が好きだったので実習主体で学べる農大を選びました。農大では様々な資格を取得できます。大型特殊は先生が指導してくれるので、安心して試験に挑むことができました。少しでも興味のある方はオープンキャンパスに来てください！待ってます！

畜産コース

2年 小山大樹さん

農大では自主性や思考力などを身に付けることができます。プロジェクト学習では農大の先生や畜技センターの先生が手厚くサポートして下さるのでのびのびと楽しく研究を進めることができます。

就農科

本県において就農をめざす優秀な人材を育成するため、就農に必要な実践的栽培技術や経営管理手法をそれぞれの経験や熟度に応じて習得することにより、円滑な就農を促し、安定した農業経営の実現をめざします。

■専攻コース

専攻コース	修業年限	定員	選択作目
園芸	1年	15名	野菜 花き 果樹



■研修内容

個々の研修生の知識・経験等を勘案しながら農業経営に必要な実践的な講義ならびに実習を行います。



実習

○栽培管理実習

野菜では、就農科専用の施設を活用して栽培管理技術を習得します。
花き・果樹では、養成科の施設圃場等を活用して栽培管理技術を習得します。



○販売管理実習

栽培管理実習で得られた農産物について、収量や直売記録を通じた実践的販売管理を学びます。



○経営管理実習

栽培管理実習・販売管理実習の結果を記帳し、実習の成果を数字で表すことにより緊張感ある実習とします。

講義

○経営管理技術

農業経営管理基礎
農業政策・法務
パソコン農業簿記
農業マーケティング論

○栽培管理技術

選択作目の概論
(野菜・花き・果樹のいずれか)
選択作目の生理・生態
選択作目の栽培管理法

※この他に養成科の講義を聴講することができます。

○就農計画ゼミ

研修終了後の農業経営について経営計画を樹立します。

○就農検討会

研修生の就農先の指導機関との連携のもと、研修の進行管理や就農に向けての検討を行います。



その他

就農に向けて必要な資格・技術は養成科の講義を受講することにより取得することができます。(養成科の資格取得を参照)



開放講座 令和5年度版

■新規就農を希望されるみなさま向け

新規就農準備講座（本県において野菜・花・果樹で就農を希望される方への講座）

回	コース	講座内容	開催日時	定員	募集期間
1	野菜（イチゴ）	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培技術や作業についての講義、実習 ・新規就農者事例発表 ・就農までのステップ ・農業大学校における技術の習得 	5月27日(土) 9:00~15:00	10名	4月24日(月)~ 5月8日(月)
	花（キク）			10名	
	果樹（梨・ぶどう）			10名	
2	野菜（キュウリ）		10月21日(土) 9:00~15:00	20名	9月19日(火)~ 10月3日(火)



開放講座風景



機械研修風景

■農業者のみなさま向け

農業機械研修Ⅰ（農業機械の基本操作や点検技術を学びたい本県農業者の方に対する研修）

研修名	内容	開催日時	定員	募集期間
農業機械基本研修 【実技編】	農作業初心者に向けた農作業安全研修（農業機械の基礎知識、トラクタによる耕うん作業、草刈作業の基本など初歩的な技能の習得）	10月25日(水) 9:00~15:00	20名	8月31日(木)~ 9月21日(木)
農業機械基本研修 【点検編】	トラクタおよびコンバインの点検整備と簡単な修繕技能の習得（実技編を受講していなくても受講可能）	12月1日(金) 9:00~16:00	20名	10月4日(水)~ 10月25日(水)

農業機械研修Ⅱ

（大型特殊（農耕用）免許やけん引（農耕用）免許の取得を希望される本県農業者の方に対する研修）

研修名	内容	開催日時	定員	募集期間
トラクタ基本研修	トラクタの構造、運転操作等、大型特殊（農耕用）免許の取得を目指す	10月2日(月)~6日(金) 9:00~16:00	20名	8月18日(金)~ 8月25日(金)
けん引研修①	トレーラーの運転操作、けん引（農耕用）免許の取得を目指す	10月16日(月)~20日(金) 9:00~16:00	15名	9月4日(月)~ 9月11日(月)
けん引研修②		11月6日(月)~10日(金) 9:00~16:00	15名	

本校施設

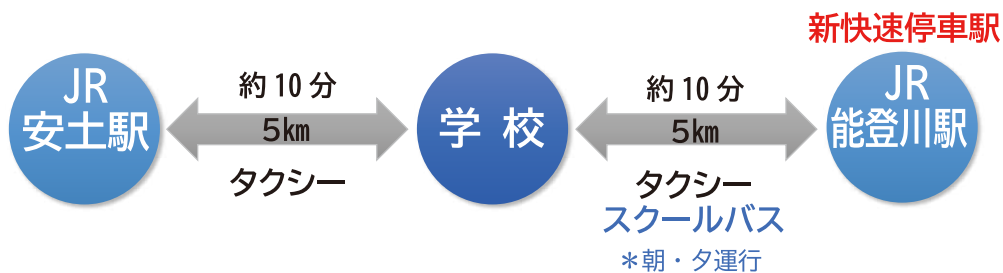
■教育研修施設配置図



用地	敷地 (総面積)	85,906 m ²	
	農業用地	64,251 m ²	
	農業外用地	21,655 m ²	
本館および附属施設	研修館 (校長室、職員室、教室、会議室、図書室等)	延べ 925 m ²	
	あしば研修館 (情報処理室、ゼミ室、就農相談室等)	358 m ²	
	学生会館 (学生ホール、談話室、浴室、保健室、宿泊室等)	延べ 1,265 m ²	
	体育館	694 m ²	
	トラック練習場	5,500 m ²	
専攻学習施設	ほ場	水田 435a	
		果樹園 41a	
		露地畑 30a	
	施設	ガラス温室 9棟	2,082 m ²
		鉄骨ビニールハウス 3棟	627 m ²
		ビニールハウス 11棟	2,568 m ²
農業機械研修室		120 m ²	

● 本校所在地と交通手段 ACCESS ●

- ◆JR 琵琶湖線「安土駅」より 5 km、タクシー約 10 分
- ◆JR 琵琶湖線「能登川駅」より 5 km、タクシー・スクールバス約 10 分



専修学校 滋賀県立農業大学校

〒521-1301 滋賀県近江八幡市安土町大中 503 番地
TEL.0748-46-2551 FAX.0748-46-2552
E-mail:gc61@pref.shiga.lg.jp

